



アジア開発銀行(ADB)のカンボジア向け業務 —環境関連を中心に—

アジア開発銀行・駐日代表事務所

広報官 望月 章子

1. ADB の業務について

アジア開発銀行 (Asian Development Bank、ADB)¹ は、フィリピン・マニラに本部を置き、融資やグラント (無償支援)、技術協力などを通じて、アジア太平洋地域の途上国の経済発展と貧困削減の実現に取り組む国際開発金融機関である。2013 年の支援総額は 210 億ドル超で²、約 3 割に相当する 62 億ドル強が東南アジア向けとなっている。

ADB によるこれらの支援の財源には、経済発展が比較的進んだ国を対象に市場金利に近い条件で貸付を行う通常資本財源 (OCR) と、比較的経済発展が遅れた国に優遇的な条件で供与されるアジア開発基金 (ADF) とがある。カンボジア (2013 年の国民 1 人当たり GNI は 950 ドル)³ は専ら ADF による支援を行う国に分類されている。

ADB は 2008 年以降、同年に制定された長期戦略枠組み『ストラテジー2020』に基づいて業務を行ってきた⁴。この『ストラテジー2020』では ADB 業務の戦略的方向性として、(1) インクルーシブな (出来るだけ多くの人々に恩恵が行きわたる) 成長、(2) 環境に調和した持続可能な成長、(3) 地域統合の促進、という 3 つの柱が定められ、そのもとで、インフラ整備、地域協力の推進、金融セクター開発など、ADB が比較優位を持つ 8 分野に業務分野を絞ることによって、支援の実効性向上を目指す取り組みがなされてきている。

『ストラテジー2020』の対象期間の中間年となる本年、ADB は変容著しいアジア・太平洋地域の開発ニーズによりよく対応できるよう、『ストラテジー2020 の中間見直し』⁵ (Midterm Review; MTR) を取りまとめた。『中間見直し』では、同地域において、絶対的貧困人口は減っていくとみられるものの、自然災害や環境劣化、経済不振、政治・社会的不安定による影響を受けやすい貧困層や脆弱な経済基盤しか持たない層が引き続き多いこと、一国内や国家間での格差が拡大していることに着目している。更に、莫大なインフラ整備ニーズ、気候変動・環境問題、急速に進む都市化、中所得国の民など、近年、アジア・太平洋地域において重要性を増している開発課題を特定し、ADB としてこれらの課題に対応していくとともに、ADB 自身の対応能力を向上させていくという内容になってい

る。『中間見直し』では、そうした問題解決の選択肢として、他の開発機関や民間セクターとのパートナーシップ強化推進やナレッジシェアリングを掲げている点も、特徴である。

2. ADB の対カンボジア支援と環境・気候変動の位置づけ

次に、ADB のカンボジアにおける業務について、特に環境と気候変動の分野に焦点を当てて見ていくこととしたい。

ADB からの支援額 (融資および無償支援) は、2013 年末現在、累積で 19 億 1697 万ドルに達している⁶。主な支援セクターは、農業・自然資源と、交通・ICT がともに全体の 2 割弱を占め、次いでマルチセクター、教育関連支援が続く。近年は特に、『ストラテジー2020』やその『中間見直し』にも明記されているインクルーシブな成長のための支援に重点が置かれている。

ADB の対カンボジア業務を規定する、カンボジア支援戦略 (Country Partnership Strategy; CPS) (2011–2013)⁷ では、①交通、②上下水道整備と都市開発、③農業と自然資源、④教育、⑤金融、の 5 分野が優先セクターとなっている。この CPS において、カンボジアの環境と気候変動については、

「カンボジアにとって、メコン河をはじめとする大切な自然資源をいかに持続的に管理できるかが、今後の経済成長を左右しかねない。そのため ADB では、(1) セクター分析やプロジェクト設計において、気候変動の課題を積極的に盛り込む、(2) トンレサップ湖流域の環境資源保全に対する取り組み向上を継続する、(3) 気候変動や環境に関するカンボジアおよび周辺国を含めた開発プログラムを調整する、(4) 国内外のリソースからの金融アクセスを確保し、既存および新規プロジェクトにおける気候変動関連業務を支援につなげる」としている。

こうした方針に基づき、ADB のカンボジア向け業務においては、①地方における水資源管理、灌漑設備整備、洪水防止、内陸のエコシステムと湿原における生物多様性の保持、を含む農業・自然資源分野、および、②上下水道などのインフラ整備、において、特に環

境と気候変動に焦点を当てたプロジェクトを支援してきている。

また、「大メコン経済圏 (Greater Mekong Subregion; GMS) プログラム」にも触れておきたい⁸。GMS プログラムは、メコン河の流域に位置するインドシナ 6 개국 (カンボジア、タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナム、中国の雲南省と広西チワン自治区) を一体ととらえ、一貫性のある支援を行うべきとの考え方に基づく開発プログラムで、1992 年の発足以降、地域の発展に貢献してきた。カンボジアは、GMS の一翼を担う国としても ADB は支援をしており、経済回廊の一つとして、プノンペンからポイペトに至る北線、およびシアヌークビル港とを結ぶ南線の整備が進められている⁹。幹線やアクセス道が整い、税関手続きが簡素化すれば、輸送にかかる日数の削減と物流コストの圧縮につながるほか、雇用創出効果も見込まれる。ADB では、道路輸送から鉄道輸送への転換を長期的視野に入れており、実現すれば環境負荷の軽減が進むだろう。GMS では、山岳地帯や自然林の生物多様性を保全する取り組みも進められている¹⁰。

3. 最近のプロジェクト事例

本項では、こうした ADB のカンボジア支援プロジェクトの中から、環境・気候変動分野に焦点を当てた例を本年承認案件の中からご紹介したい。

(ケース 1) 「洪水被害緊急復興プロジェクト」¹¹(2014 年 4 月承認、1 億 3000 万米ドル)

本プロジェクトでは、過去に洪水被害を受けた地区を対象に、道路や橋、灌がいの復旧支援を通じて農村部のアクセス確保を図るほか、防災の観点から、洪水の予測や警報など当局の能力向上も目指す。

同プロジェクトは、自然災害に直接アドレスする一例だが、ADB では、世界銀行が設立した気候投資基金 (CIF) の下で進められている気候対策試験プログラム (PPCR) に賛同し、カンボジア (東南アジアにおける唯一のプログラム対象国) 政府と連携しながら、農業・水資源・インフラの 3 分野への支援を強化している。近年、アジアをはじめ世界で自然災害の大

型化、頻発化の傾向が顕著となる中、メコン河の恵みを受けてきたカンボジアにおいても住民は台風や洪水と隣り合わせて生活している。大規模な自然災害の発生にあたり、最も影響を受けるのが貧困層であることから、こうした支援は貧困削減という ADB の目的に合致している。

(ケース 2) 「スパイス・バリューチェーン開発プロジェクト」¹²(2014 年 9 月承認、フェーズ I でインドとあわせて 1040 万米ドル)

カンボジアは胡椒の生産で知られるが、本プロジェクトでは北西部バットンバンの農家を対象に、雨水と点滴灌漑 (ドリップ・イリゲーション) を活用したスパイスの有機栽培を行う。少ない水の使用量で付加価値の高い農業の育成効果が期待されるなど、環境配慮以外にも様々な側面を持つ民間部門向け融資プロジェクトである。同様に農業分野では、「気候変動対応コメ商業化セクター開発プログラム」をカンボジア政府に供与している¹³。

防災・減災といった適応 (アダプテーション) の観点からも ADB が取り組んでいる一例である。

最後に、次期『カンボジア支援戦略』は現在準備されている。第 1 項でご紹介した『中間見直し』では環境と気候変動について、「アジア・太平洋地域は深刻な環境問題に直面している。そのため ADB は、気候変動への適応面での支援を拡大するとともに、クリーン・エネルギー、エネルギー効率化事業および持続可能な交通を通じた緩和面での支援も継続していく。さらに開発の計画段階のみならず、プロジェクトの設計と実施段階においても、適応と環境劣化に対する脆弱性を軽減するため、統合的な災害リスク管理を強化するほか、天然資源の管理を推進することにより、土壌・森林・水資源の潜在生産力を保護し、維持していく。また環境と気候変動への対策を目的とした世界的・地域的な基金への開発途上加盟国によるアクセスを支援する」としており、カンボジアにおける環境と気候変動の分野における次期『カンボジア支援戦略』の下での支援内容も、この基本線に沿ったものとなる。

¹ <http://www.adb.org/>

² 承認ベース。協調融資分 66 億 5000 万ドルを含む。

³ <http://wdi.worldbank.org/table/1.1>

⁴ <http://www.adb.org/ja/documents/strategy-2020-working-asia-and-pacific-free-poverty-0>

⁵ <http://www.adb.org/publications/midterm-review-strategy-2020-meeting-challenges-transforming-asia-and-pacific>

⁶ <http://www.adb.org/countries/cambodia/main>

⁷ <http://www.adb.org/sites/default/files/institutional-document/32677/files/cps-cam-2011-2013.pdf>

⁸ <http://www.adb.org/countries/gms/main>

⁹ <http://www.adb.org/countries/cambodia/regional-cooperation>

¹⁰ http://adb.org/projects/details?proj_id=40253-023&page=overview

¹¹ http://adb.org/projects/details?proj_id=46009-001&page=overview

¹² http://adb.org/projects/details?proj_id=48901-014&page=overview。本プロジェクトは、民間向けプロジェクトであり、ADBの民間向けプロジェクトはその対象となる国の如何に関わらず、OCRによる支援となる。

¹³ <http://www.adb.org/node/78478>